



2016年7月19日
“みやざきワイン”推進実行委員会

10月15日(土)“みやざきワイン”ニューヴォーフエア成功にむけて “みやざきワイン”推進実行委員会 2016年度の取組み概要について

「オール宮崎を結集し、“みやざきワイン”推進を成功させる」ことを目的とした2016“みやざきワイン”推進実行委員会（会長：米良 充典 副会長：柴田 祐司）の本年度の設立と今後の取組み概要をお知らせいたします。

“みやざきワイン”推進実行委員会は、宮崎県内の宮崎商工会議所連合会、宮崎県商工会連絡会、宮崎商工会議所やそれぞれの企業総勢22社が参加して、オール宮崎一丸となって『“みやざきワイン”の販売促進を通し、「じもの・地元」にこだわり、宮崎の“いいもの”を発信し、地元宮崎に貢献する』をコンセプトに、各実行委員が、10月15日（土）開催の“みやざきワイン”ニューヴォーフエア2016までに、物販、イベント、観光、飲食などさまざまな取組みを行ってまいります。

また、イオン九州株式会社が進める「地元AEON PROJECT」の一環として、宮崎県外での販路拡大や観光情報発信にご協力頂き、本年は九州7県のイオン73店舗で約25,000本の販売に取組みます。加えて関東のイオン3店舗【イオンスタイル幕張新都心】【イオンスタイルレイクタウン】【イオン東雲店】での販売を計画しております。

更に本年4月に宮崎県に移住された「サラダ記念日」で知られる歌人「俵 万智」さまの応援を頂き、10月15日（土）“みやざきワイン”ニューヴォーフエア開催までの期間中、実行委員の企画に対して、文化面からのサポートをいただきます。

なお、「平成28年熊本地震」の発生により、熊本県では未だ多くの方が非常に困難な状況の中復興に取り組んでおられます。“みやざきワイン”推進実行委員会では熊本県の早期復興を願い、今回の取組みを通じて“みやざきワイン”解禁から約1ヶ月間のワイン売上金額の1%と同額を熊本県の自治体に寄付いたします。



2016 “みやざきワイン” 推進実行委員会

宮崎県商工会議所連合会・宮崎県商工会連合会・宮崎商工会議所・宮崎県物産貿易振興センター・みやざき観光コンベンション協会・宮崎県経済農業協同組合連合会・宮崎県漁業協同組合連合会・宮交ホールディングス・宮崎カーフェリー・フェニックスリゾート・都農ワイナリー・綾ワイナリー（雲海酒造）・五ヶ瀬ワイナリー・都城ワイナリー・新酒販・錦屋商事・宮崎日日新聞社・宮崎放送・テレビ宮崎・エフエム宮崎・ワークショップ・イオン九州
(敬称略・順不同)

後援

宮崎県・宮崎市・都城市・綾町・都農町・五ヶ瀬町・宮崎県商工会議所連合会・宮崎県商工会連合会・宮崎商工会議所・都城商工会議所・宮崎県物産貿易振興センター・みやざき観光コンベンション協会・都農ワイナリー・綾ワイナリー（雲海酒造）・五ヶ瀬ワイナリー・都城ワイナリー・宮崎日日新聞社・宮崎放送・テレビ宮崎・エフエム宮崎
(敬称略・順不同)

歌人 俵 万智さま “みやざきワイン” 応援メッセージ

宮崎のワイン豊かに酌みゆけば土地の縁とは人の縁なり

「みやざき百人一首」に寄せた短歌です。さまざまな人のご縁で宮崎に住むことになりました。住んでみての第一印象は、食材の素晴らしさです。野菜も肉も果物も魚も、見事なまでに美味。そしてそれらの食材とともに、おいしいお酒のあることが大きな魅力です。宮崎のワインは軽やかで、太陽と大地の豊かさを感じさせてくれますね。

歌人・俵 万智

早稲田大学卒。1986年、作品「八月の朝」で第32回角川短歌賞受賞。1987年、第一歌集「サラダ記念日」を出版、ベストセラーとなる。翌年、「サラダ記念日」で第32回現代歌人協会賞受賞。2004年評論「愛する源氏物語」で第14回紫式部文学賞受賞。第四歌集「ブーさんの鼻」で2006年第11回若山牧水賞受賞。歌集の他、小説、エッセイなど著者多数。



みやざきの4つのワイナリーのご紹介



TSUNO WINE
MIYAZAKI

ひとりの夢がみんなの夢に

尾鈴連山と日向灘が会える地、都農。この土地が秘める「未知の力」を信じたひとりの若者によって、尾鈴ぶどうの物語は始まります。その人の名は「永友百二」。雨の多い都農でぶどう栽培は不可能、誰もがそう思い込んでいました。けれど彼は、栽培技術を身につけ、雑木林を開墾し苗を育て、ついには屋敷田にも植栽。「田んぼに木を植えるなんて」と周囲は非難しました。そうして徐々にぶどう農家は増えていきました。かくして、ひとりの夢がみんなの夢とつながっていきます。雨、蔓割病、台風、塩害と戦いながらも生産量をのばし、都農町はぶどうの産地となります。その後も彼は接木・挿木に技量を発揮し、新品種開拓に情熱を傾けました。1本の苗と1本の台木からぶどうを増やし、尾鈴ぶどうを誕生させた伝説の人。その志を継いで、都農ワインが誕生したのが今から20年前の平成8年。県下有数のぶどうの里からワインの里へ。祖父たちが夢を抱いて始めたぶどう栽培。父たちはその夢を受け継いで大きく実らせてきました。そして子どもたちに手渡す明日の都農のために新しい夢を醸しています。





MIYAZAKI
AYA WINERY
ESTAB 1994

ユネスコエコパークに認定された日本有数の照葉樹林に囲まれた宮崎県・綾町にあるワイナリー。平成6年、当時綾町でつくられていた名産のぶどう「ブラックオリンピア」からワイン造りを始めました。アロマを最大限に活かす低温発行、ワインの酸化を防ぎ味わいを高める独自の貯蔵法、フレッシュさを生かすため熱処理を一切行わない瓶詰による製造法で、綾ワインの魅力であるぶどうの香りをそのまま詰め込んだフレッシュでフルーティーな味わいを引き出しています。



五ヶ瀬ワイナリー

九州のほぼ中央に位置する五ヶ瀬町桑野内地区。山々に抱かれた美しい夕日の里として知られています。標高約600m。昼夜の寒暖差が大きなこの地で糖度と酸味のバランスが絶妙な葡萄が育まれます。「五ヶ瀬で育った葡萄から美味しいワインをつくりたい」という願いのもと、ワイナリーが完成したのは2005年。収穫したての葡萄からつくられるワインはみずみずしさ溢れるフルーティーな味わいです。

大自然の中に沈む夕日とともに、五ヶ瀬産100%のワインをゆっくりとお楽しみください。



都城ワイナリー

古事記によれば神様は「高千穂」なるところに最初に降りてこられました。ワイナリーはこの高千穂の峰の山麓にあります。一帯には霧島神宮や大型観光牧場、各種リゾート施設があり、都城市民の憩いの場所になっています。

「ぼんち騎士団」というボランティア団体に支えられ、カベルネ種と日本固有種ブドウの交配品種を中心に育てています。2010年がファーストヴィンテージ。まさにこれからの、神話に彩られた国内最南端のワイナリーです。



第2回 “みやざきワイン” を愛する会について

今年できたての新酒を楽しむ

第2回

“みやざきワイン”を愛する会

みやざき
ワイン
ヌーヴォーフェア
2016

穫れたての新鮮な葡萄から、今年もこんなに美味しい“みやざきワイン”ができました。「みやざき」ならではのフルーティな味わいを今宵、こよなく味わってください。

都農ワイン・綾ワイン・五ヶ瀬ワイン・都城ワイン

ワイナリーでしか飲めないワインを一同にあつましました。(限定)

日時 / 2016年11月4日(金)

受付 / 17:30～・開宴 / 18:00～

会場 / シーガイアコンベンションセンター

4階「天瑞」(てんずい)

会費 / 8,000円 (先着 300名様)

申込締切 / 2016年10月21日(金)

※300名様に達し次第、受付を終了させていただきます。

※参加お申し込み及び送迎バスのご利用方法は裏面をご参照ください。

特典

シェラトン・グランデ・オーシャンリゾート 特別宿泊プラン (お一人様1泊朝食付)
シングルユース ¥16,200(税込み)・ツイン ¥10,800(税込み)・トリプル ¥9,000(税込み)
お問い合わせ / ☎0985-21-1166・ご予約 / Fax 0985-21-1022

主催 / 2016 “みやざきワイン” 推進実行委員会

会長 米良充典 (宮崎県商工会議所連合会・宮崎商工会議所 会頭)

副会長 柴田祐司 (イオン九州株式会社 代表取締役社長)

委員

宮崎県商工会議所連合会・宮崎県商工会連合会・宮崎商工会議所・宮崎県物産貿易振興センター
みやざき観光コンベンション協会・J A 宮崎経済連・J F 宮崎漁連・宮崎カーフェリー
宮交ホールディングス・フェニックスリゾート・綾ワイナリー(雲海酒造)・都農ワイナリー
五ヶ瀬ワイナリー・都城ワイナリー・新酒販・錦屋商事・宮崎日日新聞社・宮崎放送
テレビ宮崎・エフエム宮崎・ワークショップ・イオン九州